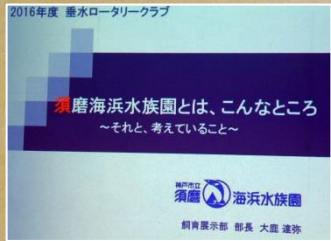


スマスイは、どんなところで 何を考えているのか



神戸市立 須磨水族園
 飼育教育部長
 大鹿 達弥 氏



● 神戸市立 須磨海浜水族園

- 1897 和田岬に遊園地 和楽園が開園
- 1957 須磨水族館開館
- 1987 須磨海浜水族園開館

役割

- 1 社会教育
- 2 調査研究
- 3 レクリエーション
- 4 自然保護



「須磨水族館」(昭和32年~昭和62年)

敷地面積: 21000㎡(本館3962㎡)
 水槽数: 淡水系20槽、海水系34槽、
 外国産系21槽(約450種の水族を飼育)
 その他施設: 大ホール(時に映画などを上映)、
 小ホール、資料室、研究室、食堂等



懐かしいです...

亀のプール



施設の特徴『強み』

日本最初の近代水族館(神戸は水族館発祥の地)
 600種、13,000点の水族を展示
 瀬戸内海・須磨海岸に隣接した立地
 国際都市神戸を中心とした大規模商圏
 須磨離宮公園、王子動物園、その他
 などの大型集客施設に近接
 ホテル・飲食店などの商業施設が多数分布

● 指定管理者制度

- (1) 制度概要・経緯
 - 地方公共団体やその外郭団体に限定していた公の施設の管理・運営を、営利企業やNPO法人などが代行
 - ⇒ 「公営組織の民営化」の一環
- (2) 狙い・効果
 - 民間の経営ノウハウによる、運営の効率化、経費の削減、市民サービスの向上

新たな試み



イルカ「ふれ愛」プール(ドルフィンピース)